

特別インタビュー

やなせたかし記念アンパンマンミュージアム
振興財団 事務局長

仙波 美由記 さん

昨年11月30日、保健福祉センター香北で「もっとやなせたかしさんを知りたい！連続セミナー」第2回が行われました。今回は、講師を務めた仙波美由記さんにインタビューさせていただいたのでご紹介します♪



Q：財団で仕事を始めたきっかけを教えてください。

A： 留学先のアメリカで、芸術家を支援する仕事をした経験を活かしたいという思いがあり、出身の愛媛県で学芸員の仕事をしたいと考えていましたが、当時は学芸員の仕事が非常に少なく、作家として積極的に活動されていたやなせたかし先生に関わる職場に魅力を感じ、やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団でお仕事をさせていただくこととなりました。

Q：やなせ先生の第一印象は？

A： 採用され1カ月たった頃、東京にご挨拶にうかがった時に初めてやなせ先生にお会いしました。そのときはとても緊張していたので、何とお声がけいただいたか覚えていません。ですが、とてもフランクな印象で、入りたての学芸員の私に対しても、分け隔てなく接してくれる方なんだなと思ったことは覚えています。

Q：心に残っているエピソードはありますか？

A： やなせスタジオにうかがった日に、たまたま製作スタッフだけのテレビアニメの試写会があり、やなせ先生が私に「試写会に参加してみる？」と声をかけてくださって、参加させていただきました。試写会が終わると、やなせ先生は厳しい意見をおっしゃっていたことが心に残っています。もちろんそれは、作品をより良くするための意見で、優しい人柄であるとともに作品づくりに妥協しない方だと思いました。

Q：先生が香美市に作ってくれたキャラクターの中で、お気に入りのキャラクターはいますか？

A： ユニークという意味では「龍河洞リューくん」が印象に残っています。合併して香美市になった際、先生にキャラクターを作してほしいと香美市から依頼があり、特徴のある名所や特産品などの資料をたくさんいただきました。その中で、それぞれをどのように表現するんだろうと思っていたところ、13キャラクターができ、リューくんを見てその意外性に驚きました。龍河洞からリューくんのようなキャラクターを生み出すことは、我々にはなかなかできない発想だと思いました。



Q：NHKの連続テレビ小説「あんぱん」に期待することはありますか？

A： 放送を見ていただくことで「やなせ先生はアンパンマンだけじゃない」ということを知っていただける機会だと思っています。また、私は30代半ばで事務局長になりましたが、事務局長になる準備をしていたわけではなく、まだまだ未熟だと思っていました。ですが、やなせ先生は事務局長就任の挨拶に訪れた際に「いいじゃない、それでいいんだよ！」と握手をして背中を押してくださいました。お母さまや奥さまのこともあってか、やなせ先生は社会進出する女性に対して、とても理解のある方でした。「あんぱん」では、女性が自立することがとても大変だった時代に社会進出した妻の暢さんと、二人で支え合ったやなせ先生との夫婦愛が物語に生かされてほしいと思っています。

Q：やなせたかし記念館を観るときのコツなどがあれば教えてください！

A： 本館だけでなく絵本館・別館と、3館ともにやなせ先生の思い出のある施設なので、すべて見ていただきたいと思っています。やなせたかし記念館は、やなせ先生がオーダーメイドしたような記念館で、先生自身が記念館のために描いた壁絵や絵画などの作品も展示しています。作家さんが存命の間に、自身の意見を反映しながら建設され、企画などをされた記念館というのは全国的にもそんなに例がないと思います。本当にこのような記念館は珍しく、恵まれた施設だと思いますので、先生がどういった思いでこの記念館をつくられたのかを感じながら見てほしいと思います。

Q：3月29日の記念館リニューアルオープンに向けて一言お願いします！

A： 今年は「あんぱん」の放送もありますが、翌年（2026年）は、やなせたかし記念館が開館30周年を迎えます。「あんぱん」の力添えもいただきながら、2026年に向けてやなせ先生の作品をたくさん見ていただいて、「あんぱん」と一緒に記念館も盛り上がって行きたいと思っています。

北村さん： 地元の皆さんが、撮影にうれしい差し入れをたくさんしてくれて、ものすごいご飯を食べさせてくれるんですよ。ホントにたくさん僕らに与えてくれる。どこか、皆さんがアンパンマンのような。だから、僕らの思うやなせさんを、そのまま映像に落とし込むことが、この地に住む人たちへの一番の恩返しなのかなと思っています。これから東京でのロケや、セットを使った撮影になるんですが、ぜひとも視聴していただきたいです！

市長： みんなで作り上げたドラマが一過性で終わるんじゃなく、これからも伝えていけるものになってほしいと考えています。市役所の職員にも、放送が終わったら何もなくなるんじゃなくて、次のことも考えてやっていきたいと思います。これからもずっと、香美市全体で応援させていただきます。長丁場になりますので、ぜひお身体に気を付けていただいて、撮影もがんばってください！

市長： ロケ地の畑も地元の方に協力していただいて準備したんですけど、いかがでしたか？

今田さん： 感動しました！前からそこにあるものだと思っていたので、最初はこのために作ったなんて知りませんでした。画面で見てもすごく素敵でした。

北村さん： 素晴らしいかったですね。ちゃんと自然に作られていて、僕もこのために作ったものと思わなかったです。

市長： 市民の皆さんへのメッセージをお願いしますか？先ほどの視聴率ナンバーワンのお話は、私だけの力ではできないので、香美市を盛り上げていただけるようなメッセージを、ぜひともお願いします！

今田さん： 香美市で撮影させていただいたんですが、地元の方が差し入れや応援の言葉をたくさんくださいました。それってきっと、やなせさんのお力もあるんだなと感じましたし、だからこそ私たちも、全力で取り組みますので、春からの放送を見ていただけるよう、頑張りたいです！



©やなせたかし

市役所の玄関でパシヤリ

出演される今田さん、北村さんだけでなく、倉崎制作統括やプロデューサーの皆さんにも貴重なお時間をいただき、本当にありがとうございました。素晴らしいドラマになるというお話もいただきました♪

「あんぱん」放送まであと2カ月となりましたが、皆さんも一緒に香美市を盛り上げていきましょう！

第3回 もっと やなせたかしさんを知りたい！連続セミナー

連続セミナー第3回では、市長訪問にもお越しいただいたNHKの倉崎憲制作統括と川口俊介広報プロデューサーをお招きし、ドラマに向けての取組や注目ポイント、ご当地にもたらす効果や裏話など、いろんな内容をお話しいたします。ぜひご参加ください！

【日時】 2月22日（土） 14時～16時（開場：13時30分）

【場所】 弁天座（香南市赤岡町795番地）

【講師】 倉崎 憲 さん〔連続テレビ小説「あんぱん」制作統括〕
川口 俊介 さん〔連続テレビ小説「あんぱん」広報プロデューサー〕

【申込期限】 2月20日（木）まで ※定員（200名）に達した場合は受付終了

【申込方法】 ウェブページ（右の二次元コード）からお申し込みください。

【問い合わせ先】 株式会社とさごころ ☎088-821-8807
✉monobe@tosagokoro.jp



倉崎 憲さん



川口 俊介さん



セミナーへの参加申込は、こちらからお願いします♪